

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第215号



2019年(令和元年)8月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人とを結び付けること(共働・共助)

たんぼアート(埼玉県行田市)



八島逸

ビーチクリーン開催のお知らせ

10月は、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間です。今年もシルバー人材センター・生きがい就労センターの普及啓発活動と社会参加活動の推進として海岸清掃を行います。会員の皆様やご家族・友人、一般の方のご参加をお待ちしております。

○とき

2019年(令和元年)10月5日(土)
午前9時から10時まで

※小雨程度は実施します。(荒天中止)
軍手・ごみ袋は用意します。

○ところ

片瀬西浜海岸を
予定していま
す。(現地集合・
現地解散)

集合場所

片瀬海岸2-20
片瀬西浜海岸

○参加連絡先

参加ご希望の方
は、事前にお電
話で事務局まで
ご連絡をお願いいたします。

電話

0466-27-1100



平成30年度 シルバー人材センター 事業の実績 生きがい就労センター

○シルバー人材センター事業 [請負事業]

	受託件数	請負金額	配分金
平成30年度	6,295件	836,003,241円	556,419,058円
会員数	男性	女性	計
平成31年3月末	2,078人	534人	2,612人

・主な活動状況

①雇用による臨時的な就業機会の提供

◆労働者派遣事業の講習会及び研修に参加 ・労働者派遣実績 平成31年3月末時点で9事業所18人を派遣

②講習（安全運転・安全作業・接遇・清掃技能・パソコン・デジカメ等）

③安全・適正就業の推進 ◆現場巡回パトロール（安全啓発チラシ配布等）、安全委員会の開催

④健康相談、講座の開催 ◆健康相談（毎月）、健康講座2回実施

⑤入会説明会、就業相談説明会の実施

◆入会説明会を毎月開催 236人参加 うち221人入会、就業相談会を毎月開催 400人参加

⑥社会参加活動の推進 ◆清掃ボランティア（片瀬西浜海岸、湘南台駅東口、藤沢駅北口）

⑦シルバー人材センター運営委員会の設立

○生きがい就労センター事業

障がい者・女性の就業機会を確保、提供する事業

	受託件数	請負金額	配分金
平成30年度	501件	20,958,026円	17,211,040円
会員数	障がい者	女性	
平成31年3月末	17人	52人	

・主な活動状況

①バッグ・小物等の製作 ◆バッグ、小袋、割烹着、エプロン

②アクセサリ製品等の講習会 ◆保冷剤の再利用による芳香剤、がま口ポーチ作り

③普及啓発活動 ◆公民館及びこぶし祭り等にてデコパージュ石鹸、バッグ、小袋、割烹着などを販売

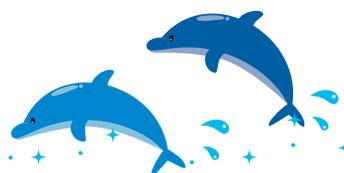
④体験活動 ◆農作業体験、企業見学

★シルバー人材センター配分金（職種別に見る割合）

職種	配分金（円）	割合
駐車場等管理	140,467,030	25.3%
植木・除草・草刈	92,170,841	16.6%
施設管理	80,153,427	14.4%
自転車整理	75,292,897	13.5%
屋内外清掃	67,393,411	12.1%
屋内外軽作業	61,568,409	11.1%
公園管理	27,466,625	4.9%
襖等張替	5,793,965	1.0%
事務	4,134,794	0.7%
その他	1,977,659	0.4%
合計	556,419,058	100%

★生きがい就労センター配分金（職種別に見る割合）

職種	配分金（円）	割合
屋内外軽作業	15,133,589	87.9%
筆耕	993,351	5.8%
洋裁等	788,888	4.6%
防災ずきん	206,420	1.2%
その他	88,792	0.5%
合計	17,211,040	100.0%



まだまだ厳しい暑さが続いてお
りますが、姫野秀朗先生がご自分
の体験を通して「熱中症」につい
て寄稿してくださいましたので、
熱中症予防に役立ててください。

「熱中症」について
～自覚できないことが怖い～

藤沢市保健医療センター
副所長 健康相談医 姫野 秀朗

近年、一段と地球温暖化が深刻
化したのに、一方で「日本一暑い」
ところが話題になります。

熱中症の発生ピークは梅雨明け
から8月上旬とされますが、異常
気象によりその発生が長期にわた
り、また都市部ではヒートアイラ
ンド現象で屋内でも起こり得る環
境になりました。熱中症はマスク
ミでも繰り返し取り上げられてい
ますが、何故起こってしまうので
しょうか？

何故？について、私の経験をお
伝えします。

(1) 暑い日の午前中の芝生の手入れ

3年前の暑い夏の日の午前中に、
母宅の庭の芝生を刈りました。麦
わら帽子をかぶり四つん這いにな
って、電動式刃渡り10cm程度の
芝刈り機を使って「一心不乱」に
刈りました。途中2度、休憩しア
イスを食べ麦茶を飲み、芝刈りを
続けました。

お昼頃に終え、家の中に入り麦
茶を何杯か飲み干しましたが、そ
の後横になった途端に眠ったよう
になり動けなくなってしまうまし
た。母の目には異様に映ったよう
でした。

(2) 何故、分からなかったのか

その後「自分の体の変化や異常
には気付かない」ということと、「一
心不乱」という感覚に陥ることが
問題だと気付きました。

(3) 熱中症とは

熱中症は、「暑熱環境における身
体適応の障害によつて起こる状態
の総称」と定義されています。重
症型熱中症は30%以上の死亡率が
ありますが、暑熱環境を避けるこ
とができれば100%予防可能とい
うことです。

(4) 予防

経験から「異常を自覚できない」
感覚であることを強調します。し
たがって予防には、自ら意識して
また強制的に休憩と水分補給を行
うことです。暑熱環境下では、30
〜45分毎の休憩を勧めます。米
産業衛生専門家会議は、就業時間
の25%以上を休憩時間とするべき
と勧告しています。

水分としては大塚製薬の「OS
11」が推奨されていますが、水
1Lに食塩1〜2gと砂糖大さじ
2〜4杯(20〜40g)を溶かした
ものでも良いです。

透湿性で通気性のよい服装をす
ることや、屋外では大型扇風機の
利用も考えてみてよいでしょう。

(5) その他の注意点

高齢者では、熱中症が重症化し
やすいものです。多くの薬剤を内
服している方も注意すべき薬剤が
あるかもしれませんので、主治医
と相談してください。

スポーツドリンクは塩分量が少
なく、糖分が多いことも注意が必
要です。

脱水による血液の凝縮で、心筋
梗塞を起こした喫煙者例を経験し
ました。タバコがその引き金だと
思われます。

企業見学に行きました

生きがい就労センターの障がい
者部門の皆さんが、5月30日川崎
市高津区にある日本理化学工業株
式会社の見学に行きました。企業
見学は、会員の皆さんが普段見る
ことの出来ない企業の生産活動等
を見学することにより、社会参加
と就業意欲を増進させ、日々の仕
事の大切さと社会に果たす役割を
改めて感じてもらうことを目的と
して行われています。

今回訪問させていただいた日本
理化学工業株式会社の主力商品は、
ホタテの貝殻(炭酸カルシウム)
などを使った「ダストレスチヨ

ク」や、安心安全な素材で作られ、
紙だけではなく、ガラスなど滑ら
かな面にも描けて水拭きできる筆
記具「キットパス」です。日本理
化学工業は、60年近くも前から障
がい者雇用に取り組み、現在は7
割以上が知的障がい者で、64名(平
成30年12月現在)の方が皆さんい
きいきと働いていらっしゃいます。
また、障がいのある社員の方が、
今ある能力で仕事ができるように、
作業方法の工夫・改善を行い、働
きやすい環境づくりに努められ
ています。

この日は会社の概要や商品の説
明を受けた後、「ダストレスチヨ
ク」の製造工程を見学させていただ
きました。会員の皆さんは、障がい
を持つ社員の皆さんの熱心に働く姿
を見ることができ、就業意欲を持つ
ことの大切さを改めて感じていたよ
うでした。今回の見学は、神奈川
県の福祉バスを利用して行われま
した。天候
にも恵まれ
会員相互の
親睦もはか
ることがで
き、大変有
意義な一日
を過ごすこ
とができた
した。



会員の活動紹介

史跡歩き同好会

鵜沼海岸史跡歩き

山本 伸哉

青空の下近場の小田急江ノ島線に乗り鵜沼海岸駅下車、そこからまず鵜沼伏見稲荷神社を目ざして散策します。その道すがらに鵜沼市民センターがあり、その近くに「東屋旅館」の跡の記念碑があります。その当時この旅館には武者小路実篤や志賀直哉また芥川龍之介などの文豪が常連客として宿泊していたそうです。又、近くに萱葺かやぶきの家が残っているそうですが、近くに住んでいる人は東屋旅館の離屋ではないかと言われているそうです。そこを後にし、鵜沼伏見稲荷神社に着きました。ここは、祭神宇迦之御魂大神の他四神で、境内には奥社、稲荷社、祖霊社があり、道路面に大きな赤い鳥居が目印です。又、境内

に湧水があり飲み水としても利用出来るとのこと。次に引地川を藤沢方面に進むと長久保公園があり、色々な植物や木を見て楽しむことが出来ます。また、小高い丘に登ると展望台になっており、この日は天気も良く、江の島が一望できました。

(令和元年5月19日)

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 23-5632 山本伸哉

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

新元号「令和」に替わり早や

四月よつぎ、皆様お元気にお過ごしですか😊

以前「健康維持のための5の法則」を紹介しましたが、実行してますか。一日に一読・十笑・百吸・千字・万歩。

私も大台の齢80。100%は無理ですが、がんばってます。

今回もステキな新人さんが現われました。その名は「かずお」さん。前号は「みのる」さん。

お二人共五行歌を詠むのがお好きの様です。初作は「添削」は致しません。

次号は、更なる感動作を期待

しましよ。では、私の名句にみせた艶物駄作第二弾。

『ふたり目がほしいとそつと頬を押す』

追伸

最近、短歌がブームの様です。

何故かお分かり？無題です😊

なお、当同好会にご参加の方は左記の森本、若林までご連絡ください



川柳同好会

自由吟 『無題』

夏まつり若い力が町おこし
お祭りだ盆だと夏が攻めて来る
あいさつをマスクで済ます朝の駅
惜別のゴール下光る自主返納
老骨に刺激を求めて街を往く
雑談が始まるオレが歌う時
診察室悲喜こもごものドアの外

選者

森本 生雄
若林 琢磨

14310023
8111407

五行歌

真夏の
風呂上がり
ノドを潤す
缶ビール
生き返る
かずお
(新人ですよろしく)

幼き頃
母がタライに
水を張る
水も滴るいい女
夏の昼下りのミステリー
もも子

打ち水
夕暮れの
涼しさを
風が呼ぶ
部屋中に
生雄

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)